

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2020年11月23日発行

兵庫のみ研究所

この海域西部において小型珪藻キートセロスが多く発生しており、その海域では窒素がかなり低い状況にあります。今回調査は上げ潮時ということもあり、その海水の影響が見られた二見東部から林崎新漁場の窒素は全般に $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後となっていますが、二見西部以西では $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均 19.1°C 。前回(11/16)調査以降、水温は横這い～上昇しており降下が見られていない。

(塩分) 平均 31.8psu 。前回(31.79)と概ね同値。

(栄養塩、珪藻) コシノディスカスは別府～二見周辺の地先で海水 1L あたり $150\sim 200$ 細胞、江井ヶ島以東で 100 細胞前後と前回調査よりさらに減少している。高砂～二見西部にかけてはコシノディスカスが僅かに確認される程度であるが、小型のキートセロスがかなり多く見られ同域の窒素が再び低下している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	19.1	19.1	17.5	18.1
窒素	3.4	2.2	7.3	1.8
リン	0.52	0.48	0.65	0.42

(11/16)

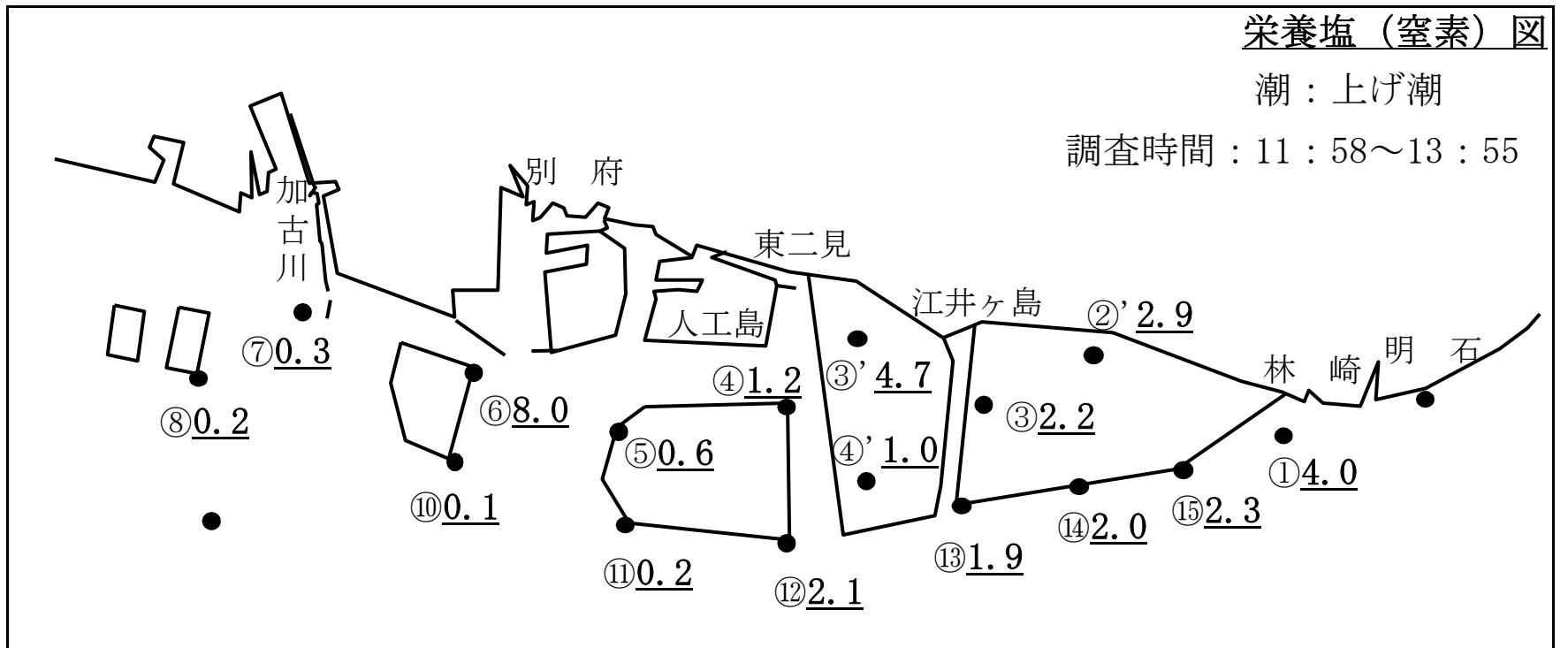
11月下旬 (11/21)

2020年11月22日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：11:58～13:55



水温図

